

＜令和5年度主要事業＞

令和5年度の重点取組である「人口対策」、「時代や社会の変化への対応」及び「魅力を活かしたまちづくり」のほか、その他に分類した主な事業は、次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 （括弧内の金額は予算現額）】

1 人口対策

(1) 安心して子育てできる環境づくり

☆① 保育料の引下げ

- ・保育に関する家計負担軽減のため、保育料を近隣他都市並みに引き下げるとともに、第2子の保育料を完全無償化（第3子以降は従前より無償）

- ☆② 子どもの学習・生活支援事業費（社会福祉費計上分） 973千円(975千円)
子どもの学習・生活支援事業費（児童福祉費計上分） 3,941千円(3,958千円)
- ・ひとり親家庭、生活保護世帯、生活困窮世帯の中学生を対象として、学習の支援や困りごと相談に応じるなど生活支援を実施
 - ・令和4年度に引き続き、試行として、受講歴のある高校生を受入れ

- ③ 医療的ケア児等総合支援事業費 18千円(4,436千円)
医療的ケア児保育支援事業費 2,848千円(4,474千円)
- ・日常生活を営むために医療的ケアを要する状態にある児童に対し、保育所等の利用を支援するため、看護師等を派遣

- ④ 医療扶助費（重度・市単独分） 196千円(576千円)
医療扶助費（こども・市単独分） 101,310千円(101,312千円)
医療扶助費（ひとり親家庭等・市単独分） 14,651千円(14,759千円)
- ・北海道による医療費助成に上乗せして市の独自助成を実施
 - ・小学生までの入院・通院医療費を実質無償化するほか、非課税世帯の中学生の入院医療費を実質無償化し、課税世帯の中学生の入院医療費負担を1割に軽減

- ⑤ 銭函小学校放課後児童クラブ新築関係経費 127,162千円(160,019千円)
- ・安全・安心な子どもの居場所の提供と環境改善を図るため、銭函小学校放課後児童クラブにおいて、老朽化した建物の新築建替えを実施

- ☆⑥ 一時預かり事業費補助金 11,190千円(11,915千円)
- ・保護者の就労形態の多様化等に伴う一時的な保育、急病や入院、保護者の育児負担解消等のための一時預かりサービスを実施する保育所等に対する補助
 - ・令和5年度から、里帰り出産も利用可能となるよう対象を拡大

- ☆⑦ 病児保育事業費補助金 6,651千円(7,229千円)
- ・病気になった際に一時的に保育する病児保育事業を実施する認定こども園いなほ幼稚園に対する補助
 - ・令和5年度から、課税世帯の利用料（2,000円／回）を無償化

- ⑧ 民間保育施設等整備支援事業費補助金 222,430千円(225,802千円)
- ・保育所・幼稚園等が行う、園舎建替え費用の一部を補助
- ◇ゆりかご保育園 189,131千円(192,503千円)
◇小樽幼稚園 33,299千円(33,299千円)

- ◎⑨ 保育士等就労定着支援事業費補助金 3,128千円(3,550千円)
- ・保育士等の人材を確保するため、新規に就労した保育士等に対し一時金を支給（採用時10万円、3年目20万円、6年目30万円 合計60万円）

- ◎⑩ こどもの安全・安心対策支援事業費補助金 1,223千円(1,400千円)
- ・市内保育施設で所有する送迎用バスに、園児の車内置き去り防止のための安全装置を設置するために必要な経費を補助（1台当たり175,000円を上限）

- ☆⑪ 障害児相談支援事業費 7,448千円(7,682千円)
- ・児童の発達に関する相談支援体制を強化するため、相談支援専門員を1名増員

- ◎⑫ 産婦健康診査事業費 2,129千円(4,100千円)
- ・子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、産後の初期段階における母子に対する支援を強化するため、産婦健康診査に係る費用（2回分／1回当たり5,000円を上限）を助成
- ◎⑬ 母子保健対策強化事業費 1,476千円(1,559千円)
- ・弱視等を早期に発見し、早期治療につなげるため、3歳児健康診査において、高精度の視力検査を実施するための検査機器を整備
- ⑭ 出産・子育て応援事業費 77,710千円(99,437千円)
- (うち36,154千円(36,186千円)は令和4年度から繰越)
- ・妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的支援として給付金を支給
- ◎⑮ トイレの洋式化等整備事業費（東小樽海水浴場公衆便所） 11,380千円(13,116千円)
- ・トイレの洋式化等整備、足洗い場の設置等
- ⑯ トイレの洋式化等整備事業費（公園） 2,968千円(3,000千円)
- ・市内3公園のトイレの洋式化等整備
- 令和5年度 ちどり公園（朝里1丁目）、やまびこ公園（富岡2丁目）
山の上公園（富岡2丁目）
- ⑰ 都市公園安全・安心事業費 38,259千円(41,950千円)
- ・公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園遊具や施設を地域住民のニーズを踏まえて更新
- 令和5年度 やまぶき公園（オタモイ1丁目）、しらかば公園（新光5丁目）
ベイビュータウン中央公園（新光町）、ふれあい公園（張碓町）
銭函1丁目公園（銭函1丁目）、銭函中央公園（銭函3丁目）

- ◎⑱ 総合公園再整備事業費 3,157千円(3,157千円)
- ・小樽公園の遊び場再整備に当たり、整備方針の策定や概算事業費の算出等を実施
- ☆⑲ スクールカウンセラー関係経費 7,069千円(7,145千円)
- ・スクールカウンセラーを1名増員することにより4名体制とし、いじめや不登校に関する相談体制を強化
- ☆⑳ スクールソーシャルワーカー関係経費 2,621千円(2,630千円)
- ・スクールソーシャルワーカーの勤務日数を週3日から週5日にし、困難ケースへの対応体制を強化
- ㉑ トイレ改修事業費（稲穂小） 15,529千円(18,800千円)
- ・校舎トイレの洋式化改修
- ☆㉒ 学校図書館整備費（図書館司書関係） 13,798千円(14,296千円)
- 〈小学校7,867千円(8,300千円)、中学校5,931千円(5,996千円)〉
- ・学校図書館の運営改善と環境整備を図るため、学校図書館司書を1名増員し、合計9名を配置
- ◎㉓ 学校図書館整備費（学校特別配当分） 4,991千円(5,000千円)
- 〈小学校2,651千円(2,654千円)、中学校2,340千円(2,346千円)〉
- ・学校図書館の蔵書充実を図るため、令和5年度から3か年で集中的に蔵書を整備（1年目）
- ◎㉔ 授業時数特例校支援事業費 1,617千円(1,760千円)
- ・授業時数特例校である忍路中央小学校のふるさと学習を充実させるため、学校菜園等を整備

②⑤ 校舎等耐震補強等事業費（桂岡小） 570,020千円(872,500千円)
・校舎・屋内運動場の耐震補強工事、校舎トイレの洋式化等改修及び照明設備の改修、プール改修等

②⑥ トイレ改修事業費（朝里中） 55,842千円(60,000千円)
・校舎及び屋内運動場トイレの洋式化等改修

◎②⑦ 部活動改革推進事業費 1,440千円(2,816千円)
・令和5年度から合同部活動（拠点校方式）を実施するに当たり、生徒の移動を支援

◎②⑧ 米飯給食食器具購入費 2,970千円(6,000千円)
・学校給食における米飯提供回数を週2回から週2.5回に増やすための必要な食器具の購入

◎②⑨ トイレの洋式化等整備事業費（生涯学習プラザ） 2,582千円(2,600千円)
・プラザ内トイレの洋式化等改修

(2) 雇用・所得の創出

③⑩ 若者就職マッチング支援事業費 1,573千円(2,000千円)
・高校生や大学生などの若者の就職率向上と地元定着を目的として、企業見学会や企業出前説明会、新社会人講座を実施

☆③① 水産物ブランド化推進事業費 2,573千円(3,000千円)
・小樽おさかな普及推進委員会のホームページによるPRや、小樽水産加工品ブランド推進委員会の「小樽水産加工グランプリ」の開催による小樽の地魚や加工品のブランド化や販路拡大を支援

・令和5年度は、グランプリ受賞商品のフォローアップのため、フェアの開催やPR、商談会を実施

③② 海外販路拡大支援事業費 1,397千円(2,310千円)
・海外販路の拡大を目指す市内企業等に対し、商談会、展示会等への出展や現地企業との商談を支援

☆③③ 小樽産品販路拡大強化支援事業費 7,041千円(7,041千円)
・小樽産品の販路拡大のため、商談会への出展のほか、百貨店等の販路開拓、お取り寄せチラシによる販売などを支援
・令和5年度は、事業者が商品を消費者に直接アピールし、ニーズを把握しながら商品を開発できる取組を実施

☆③④ 空き店舗対策支援事業費 1,609千円(2,850千円)
・既存事業者が空き店舗を活用して店舗の開設や増設・拡張等をする場合に、店舗家賃の一部や内外装工事費を支援
・令和5年度から、助成対象事業者及び対象区域を拡大

☆③⑤ 企業誘致促進事業費 4,540千円(4,740千円)
・企業誘致に向けた産業展等への出展や、企業への訪問活動、パンフレット等のPRツール作成
・令和5年度は、札幌圏の企業を対象とした設備投資動向調査を実施

- ◎③⑥ サテライトオフィス誘致事業費 8,910千円(9,000千円)
- ・ I Tベンチャー企業等のサテライトオフィス誘致を推進するため、ターゲット企業の選定を含めた誘致戦略の策定や企業とのマッチング等を専門的な知見を有する事業者へ委託し実施
- ③⑦ 立地環境視察費用補助金 275千円(1,000千円)
- ・ I T関連企業や製造事業者等に対し、サテライトオフィス等の開設を検討するための視察に要する費用の一部を補助
- ☆③⑧ 創業支援事業費 12,272千円(14,400千円)
- ・ 一定の要件に該当する新規創業者に対し、事務所等の賃貸料や内外装工事に関する費用等を補助
 - ・ 令和5年度から、内外装工事費の限度額について、30代までの新規創業者を対象とする若者加算20万円を新設
- ☆③⑨ 創業支援セミナー「小樽商人塾」開催事業費 894千円(970千円)
- ・ 創業支援セミナー「小樽商人塾」の開講に要する経費
 - ・ 令和5年度から、創業にあたっての心構えなどを学ぶ「創業ナッジセミナー」を開設するとともに、講座内容をより充実して開講
- ☆④⑩ 経営力強化支援事業費 3,256千円(3,290千円)
- ・ 地域経済の活性化及び中小企業の経営力強化を図るため、女性復職の制度化的な周知やパッケージ作成支援を実施
 - ・ 令和5年度は、令和4年度のパッケージ作成支援事業の対象となった商品について、SNSや商談会でのPRを実施

- ◎④⑪ 事業承継支援事業費 2,929千円(2,930千円)
- ・ 事業承継に対する意識啓発や支援制度を周知し、後継者不足による廃業を抑制するため、事業者の課題把握のための実態調査を実施するほか、事業承継に関するセミナーを開催

(3) 移住の促進

- ④⑫ 移住促進事業経費 759千円(871千円)
- ・ 移住情報サイト「笑（え）になるおたる」による情報発信や、首都圏での移住フェアへの出展
- ④⑬ 移住支援事業費 4,000千円(4,000千円)
- ・ 北海道との共同事業により、東京圏から移住し、就業の要件（対象となる中小企業等へ就職、起業、テレワーク）に該当する場合に支援金を支給
- ④⑭ 移住・定住促進住宅取得費等補助金 1,750千円(2,200千円)
- ・ 小樽市に転入し、既に小樽市内に2年以上居住する世帯と三世代で同居・近居する場合に、中古住宅の購入や増改築等に要する費用の一部を補助
- ◎④⑮ 人口戦略推進事業費 12,343千円(12,347千円)
- ・ 移住者の呼び込みと定住に結びつけるための移住体験ツアーや移住者ミーティングの実施、小樽商工会議所内に開設した「おたる移住・起業ひと旗サポートセンター」の運営、市内の発達支援事業所や宿泊施設などと連携した親子ワークショップの実施
- ◎④⑯ 地域魅力発信事業費 3,300千円(3,300千円)
- ・ FMノースウェーブと包括連携協定を締結し、札幌圏をターゲットに本市の魅力を発信

2 時代や社会の変化への対応

- ① 行政手続オンライン化経費 3,175千円(3,175千円)
・市民の利便性向上と業務効率化を図るための行政手続や、各種アンケート調査のオンライン化に要する経費
- ② デジタル外部人材関係経費 12,897千円(12,897千円)
・民間の知見を活かして本市のDXを推進するため、外部人材を招へい
- ③ AI・RPA関係経費 7,806千円(8,418千円)
・データ入力等の単純作業を縮減し、業務の効率化を図るためのRPAやAI-OCRなどの利用に要する経費
- ◎④ 庁内会議ペーパーレス化推進事業費 10,937千円(11,800千円)
・会議資料等を電子化し、コスト削減や業務効率化を図るための端末等の整備
- ◎⑤ ビッグデータ活用実証事業費 908千円(990千円)
・民間企業に蓄積されたデータを活用し、効果的な施策の推進やEBPM（根拠に基づく政策立案）の推進を図るための実証事業を実施
- ◎⑥ AIチャットボットシステム導入事業費 1,672千円(1,716千円)
・市ホームページや公式LINEと連動したAIチャットボットによる24時間365日の相談受付体制の整備
- ◎⑦ Wi-Fi設備整備事業費 11,563千円(13,962千円)
・市有施設の利便性向上のため、Wi-Fi設備を整備（市役所別館1階、市民会館、公会堂、市民センター、勤労青少年ホーム、生涯学習プラザ、図書館）

- ◎⑧ 本庁舎維持管理経費（蒸気配管等断熱化事業費） 743千円(743千円)
・燃料使用量を削減し、CO2排出量とランニングコストを抑制することを目的として、市役所本庁舎のボイラーのバルブ及び配管を断熱化
- ◎⑨ シニアスマホ教室開催事業費 872千円(1,012千円)
・スマートフォンの操作に不安を感じる高齢者を対象としたスマホ教室の開催
- ◎⑩ 保育所等入所選考システム導入事業費 7,995千円(8,000千円)
・保育所等の入所選考（利用調整）に関する事務を効率化し、選考結果通知の迅速化を図るなど利用者サービスの向上を目的に、AIマッチング機能を備えた入所選考システムを導入
- ◎⑪ パートナリシップ制度推進事業費 54千円(231千円)
・性的マイノリティの方々が暮らしやすい社会の実現のため、「パートナーシップ宣誓制度」の導入や、周知啓発活動を実施
- ◎⑫ 私立保育所等ICT化推進事業費補助金 2,476千円(8,000千円)
保育業務支援システム導入事業費 11,356千円(12,000千円)
・保育士の業務負担軽減と利用者の利便性向上を目的とした、市立保育所5か所のICT化と私立保育所等のICT整備に対する補助
- ⑬ CO2削減・省エネ最適化診断事業費 21千円(21千円)
・市有施設において、具体的なCO2削減効果や経費削減効果が可視化される「省エネ最適化診断」を実施
・令和4年度は4施設で実施し、令和5年度は新たに2施設で実施
- ◎⑭ 第2次環境基本計画策定事業費 2,792千円(3,570千円)
・本市の目指す将来像や目標を示す環境行政のマスタープランである第2次環境基本計画の策定に要する経費

- ☆⑮ 大気汚染監視測定機器整備事業費 5,225千円(6,500千円)
・大気中の窒素酸化物測定装置の更新及び記録装置のデジタル化
- ☆⑯ 校務支援システム関係経費 9,798千円(9,800千円)
〈小学校5,680千円(5,681千円)、中学校4,118千円(4,119千円)〉
・教員の業務負担を軽減するとともに、児童生徒に必要な指導支援を行うことのできる環境づくりのため、市内全小中学校に校務支援システムを導入
- ◎⑰ 蛍光灯ＬＥＤ化改修事業費（学校給食センター） 3,751千円(3,876千円)
・電気使用量を削減し、ＣＯ２排出量とランニングコストを抑制することを目的として、センター内の照明機器をＬＥＤ化
- ◎⑱ 図書館システム整備事業費 18,283千円(18,284千円)
・「まちをつなぐ図書館」の実現に向けて、現図書館システムの更新の際にマルチデバイス化し、学校図書館との連携強化や情報発信のための新機能を追加

３ 魅力を活かしたまちづくり

- ◎① 旧第３倉庫保全・活用経費 14,740千円(17,259千円)
・旧北海製罐株式会社小樽工場第３倉庫で実施する本格的活用に向けた社会実験に必要な消防設備などの改修
- ② 北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会関係経費 224千円(400千円)
・北海道新幹線の開業効果を最大限活用したまちづくりを目的とする官民連携の協議会を開催
・令和５年度は、新小樽（仮称）駅の駅舎デザイン推薦案の選定等を実施

- ③ 新小樽（仮称）駅周辺駐車場等整備関係事業費 36,245千円(37,000千円)
・新小樽（仮称）駅周辺のまちづくりを進めることを目的として、市が主体となって整備する施設等に関する設計・検討及び調査
令和５年度 立体駐車場、駅附帯施設の基本設計等
- ④ 日本遺産地域活性化事業費 767千円(835千円)
・日本遺産「北前船寄港地・船主集落」、「炭鉄港」を活用し、シビックプライドの醸成と観光誘客につなげるため、日本遺産フェスティバルへの参加や、北前船子どもフェリー使節団の開催負担金を支出
- ◎⑤ 日本遺産推進協議会補助金 1,722千円(3,100千円)
・令和３年に日本遺産候補地域に認定され、令和６年度の日本遺産認定を目指す「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～「民の力」で創られ蘇った北の商都～」の事業主体である小樽市日本遺産推進協議会への補助
- ◎⑥ 公会堂内装等改修事業費 24,237千円(24,237千円)
・観光資源としての利活用促進に向け、公会堂の内装等を改修
- ◎⑦ 小樽運河１００周年プロジェクト開催事業費補助金 2,000千円(2,000千円)
・令和５年度に小樽運河が竣工100周年を迎えたことから、「小樽運河100年プロジェクト」と題し、秋から冬にかけてロングランイベントを開催した小樽運河100年プロジェクト実行委員会に対する補助
- ◎⑧ 竜王戦小樽対局実行委員会補助金 3,000千円(3,000千円)
・「第36期竜王戦第４局小樽対局」に合わせて地域の魅力発信イベント等を実施する実行委員会に対する補助

◎⑨ 歴史的風致維持向上計画推進経費 3,834千円(6,000千円)
・国の支援制度を活用し、歴史を活かしたまちづくりを推進するため、歴史まちづくり法に基づく小樽市歴史的風致維持向上計画を策定

◎⑩ 全国町並みゼミ小樽大会補助金 2,000千円(2,000千円)
・第46回全国町並みゼミ小樽大会の開催費用の一部を補助

⑪ 環日本海クルーズ推進事業費 86千円(1,333千円)
・日本海側クルーズの寄港促進とブランド化を図るため、小樽港、秋田県3港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港の5地域の共同でクルーズ船の誘致活動を実施

⑫ 小樽港クルーズ推進事業費 11,400千円(13,323千円)
・官民協働の「小樽港クルーズ推進協議会」によるクルーズ船の誘致活動や受入態勢強化の取組に要する経費

⑬ 国直轄工事費負担金（第3号ふ頭岸壁改良事業費）
327,015千円(330,800千円)
（うち90,750千円(90,800千円）は令和4年度から繰越）
・老朽化した施設の長寿命化、大型クルーズ船の接岸が可能な岸壁への改良工事
令和5年度 17番岸壁舗装工（L=164.3m）
上部工・付属工（L=96.0m）
海上地盤改良工（L=82.3m）
ドルフィン（L=38.0m）

⑭ 基部緑地整備事業費 132,310千円(140,624千円)
（うち86,159千円(90,500千円）は令和4年度から繰越）
・賑わいや魅力づくりを目的に、市民や観光客が集うことができる空間として、第3号ふ頭基部を緑地として整備
令和5年度 護岸改良、緑地整備

⑮ 小型船だまり整備事業費 86,720千円(241,400千円)
（予算現額のうち153,080千円は令和6年度へ繰越）
・第3号ふ頭及び周辺再開発計画に基づき、小樽港で運航している観光船を第3号ふ頭基部に集約
令和5年度 物揚場整備（L=50.0m）

◎⑯ 観光船ターミナル整備事業費 37,296千円(40,000千円)
・観光船の発着を集約する小型船だまりの整備に合わせて、観光船ターミナルを整備
令和5年度 基本・実施設計、地質調査

◎⑰ 港湾管理事務所整備事業費 23,053千円(36,535千円)
・第3号ふ頭基部及び周辺再開発に伴い解体される港湾室庁舎の整備
令和5年度 用地購入、用地測量、基本・実施設計、地質調査

⑱ 重要文化財旧日本郵船㈱小樽支店保存修理工事費 202,520千円(317,425千円)
・本市を代表する重要文化財である建造物の保存・活用を図るための耐震補強工事及び保存修理
令和5年度 外壁・石塀の石材補修、石塀の耐震補強、漆喰修繕等

4 その他の主要事業

- ◎① 空調設備整備事業費 1,738千円(1,030,747千円)
◇本庁舎 ー千円(52,415千円)
(予算現額の全額を令和6年度へ繰越)
◇小学校 1,133千円(660,052千円)
(予算現額のうち658,798千円は令和6年度へ繰越)
◇中学校 605千円(300,372千円)
(予算現額のうち299,703千円は令和6年度へ繰越)
◇図書館 ー千円(17,908千円)
(予算現額の全額を令和6年度へ繰越)
・暑さ対策として小・中学校の保健室に窓用エアコンを設置
- ☆② 北海道新幹線並行在来線関係経費 510千円(600千円)
・バス転換とする方向性が決定した並行在来線について、代替バスの運行ルートやダイヤ等を検討
・令和5年度は、検討中のルート案についてバス運行実験を実施
- ③ ふるさと納税関係経費 448,660千円(599,908千円)
・「ふるさと納税」制度による寄附者への返礼品として地場産品を贈呈
- ◎④ 企業版ふるさと納税関係経費 33千円(110千円)
・「企業版ふるさと納税」制度による寄付を促進するため、企業版ふるさと納税サイトへの掲載に要する経費
- ⑤ 生活バス路線運行費補助金 69,956千円(85,500千円)
・市民の生活に必要なバス路線の維持及び確保を図るため、国の補助金で補填しきれないバス事業者の収支不足額を補填

- ⑥ 防災関係経費（避難支援事業） 552千円(700千円)
・土砂災害等ハザードマップや防災啓発チラシ作成のほか、避難行動要支援者（高齢・障害等の理由により自力での避難が困難な方）の避難を支援するための名簿等を作成
- ☆⑦ 総連合町会補助金 15,104千円(15,127千円)
・総連合町会の円滑な運営のために要する経費を補助
・令和5年度は、燃料費や物価高騰に対する暫定措置として町会活動支援補助金を交付
- ⑧ ふれあいパス事業費 191,237千円(194,851千円)
・70歳以上の市民に「ふれあいパス」（バス又は鉄道の利用助成）を交付
- ⑨ 市民会館大規模改修事業費（舞台設備改修等） 85,063千円(85,063千円)
・小樽市公共施設長寿命化計画に基づき、令和13年度以降の第2期での建替えを見据えた設備等の改修工事
令和5年度 舞台吊物ワイヤー交換ほか
- ⑩ 葬斎場再整備事業費 92,829千円(94,230千円)
・令和2年度からの火葬炉使用料有料化に合わせ、同年度から計画的に大規模改修を行い、施設を延命化
令和5年度 火葬炉及び火葬炉化粧扉の改修、照明機器のLED化、電動リフト台車2台の更新
- ⑪ 森林環境整備事業費 17,859千円(17,900千円)
・未整備森林所有者への管理意向調査に基づく、管理実施権集積計画の作成
・旭展望台周辺の大看板の更新、バイオトイレの設置
・おたる自然の村の木製アスレチック遊具の更新（3年目）

- ☆⑫ 教育旅行誘致促進事業費 2,476千円(10,000千円)
- ・教育旅行誘致のため、説明会参加やガイドブック配布のほか、市からの販売計画（道外高校、小樽市内1泊以上）の承認を受けた旅行会社に対し、宿泊実績に応じた補助金を支給
- ☆⑬ 観光誘致促進事業費補助金 8,700千円(8,700千円)
- ・一般社団法人小樽観光協会が実施する観光誘致促進の取組に対する補助
 - ・令和5年度は、市内宿泊者等へ夜の飲食店や観光情報を案内するなど、夜の観光振興事業の取組を強化
- ☆⑭ おもてなし推進事業費 3,645千円(3,658千円)
- ・観光事業者のホスピタリティの向上を図るため、アドバイザーを招へい
 - ・「小樽版おもてなし認証制度（仮称）」構築を目指す一般社団法人小樽観光協会の取組を支援
- ⑮ 観光客動態調査事業費 4,653千円(4,939千円)
- ・今後の観光施策推進のための基礎資料とするため、小樽市を訪れる観光客の動態や消費金額などを調査（5年に1度の調査、秋季・冬季調査のみ）
- ☆⑯ 外国人観光客誘致広域連携事業費補助金 5,993千円(6,000千円)
- ・行政と経済団体の連携により、世界に小樽観光の魅力を発信し、訪日外国人観光客の誘致を推進
 - ・令和5年度は、シンガポールをターゲットに現地旅行会社へのセールスコールのほか、現地旅行会社を招へいし、誘客を促進
- ⑰ 街路防犯灯設置費補助金 962千円(1,388千円)
- ・街路防犯灯の新設及び既存街路灯具の改良・更新に要する費用の一部を補助

- ⑱ ロードヒーティング更新事業費 86,622千円(150,000千円)
- ・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新
令和5年度 入船南線、桜8号線、奥沢3丁目通線、厩中央線
- ⑲ 除雪費 1,918,748千円(2,200,000千円)
- ・冬期間における円滑な道路交通を確保し、市民の快適な冬の暮らしや経済活動を支えるため、バス路線及び主要通学路を優先した、計画的で効率的な除排雪を実施
- ⑳ 建設機械整備費 127,930千円(135,448千円)
- ・安定的な除排雪体制確保のため、市所有の除排雪機械を計画的に更新・増強し、除排雪業務受託者に貸与
令和5年度 大型ロータリ除雪車2台更新、凍結防止剤散布車1台増強
- ㉑ 災害状況案内サービス関係経費 5,646千円(5,647千円)
- ・光回線を使用した電話案内サービスによる災害状況案内のために要する経費
- ㉒ 庁舎等改修事業費（消防本部屋内訓練室等） 28,676千円(29,226千円)
- ・災害時の拠点となる施設を整備し、大規模災害時に対応できる受援体制の確立を図るため、消防本部屋内訓練室等を改修
- ㉓ 救急業務高度化推進事業費 74,574千円(74,662千円)
- ・高規格救急自動車2台の更新
- ㉔ 消防・防災施設整備費 17,517千円(18,068千円)
- ・消防団の強化を目的として、小型動力ポンプ付積載車1台を整備

◎②⑤ 新総合体育館基本計画策定事業費 14,403千円(14,800千円)

- ・令和4年度策定の基本構想に基づき、諸室の面積や配置、事業手法など、より具体的な内容を定める基本計画の策定

②⑥ 手宮公園競技場整備事業費（インフィールド改修） 53,897千円(58,860千円)

- ・日本陸上競技連盟の第3種公認陸上競技場として必要なインフィールドの改修

☆②⑦ 〔国民健康保険事業〕 特定健康診査等事業費 69,685千円(82,092千円)

- ・国保加入者の特定健康診査受診率向上のため、受診に係る自己負担額を無料とし、10月末までの早期受診者全員にQ U Oカードを贈呈（11月以降は抽選）
- ・令和5年度は、電話による受診勧奨などの受診率向上の取組を強化するほか、一部 I C Tを活用した特定保健指導を実施

②⑧ 〔住宅事業〕 公営住宅建替事業費 112,969千円(162,052千円)

(うち77,209千円(88,572千円)は令和4年度から繰越)

- ・老朽化した塩谷地区の市営住宅の集約建替え

令和5年度 新塩谷B住宅の基本・実施設計等

☆②⑨ 〔介護保険事業〕 地域包括支援センター運営事業費 123,125千円(125,000千円)

- ・高齢者人口の多い東南部圏域における支援体制強化のため、東南部地域包括支援センターに職員1名を増員

☆③⑩ 〔後期高齢者医療事業〕 保健・介護一体的実施推進事業費 5,473千円(12,306千円)

- ・健康寿命の延伸を目指すため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について実施圏域を3→4圏域に拡大し、全圏域で実施

＜主な新型コロナウイルス感染症対策、原油価格・物価高騰対策関連事業＞

(1) 地方創生臨時交付金を活用し、実施した事業

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせて必要な支援をきめ細やかに実施できるよう国の補正予算等で措置された地方創生臨時交付金を以下の事業に活用

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

2,704,094千円[3,030,337千円]

(令和6年度への繰越分を除く(事業費))

① 公共交通事業者等支援事業費 23,944千円[23,944千円]

② 緊急生活支援給付金給付事業費(交付金追加分)
1,218,232千円[1,508,872千円]

③ 緊急生活支援給付金給付事業費 759,079千円[759,699千円]

④ 障害福祉施設電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業費
13,624千円[13,624千円]

⑤ 介護保険施設電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業費
37,854千円[37,854千円]

⑥ 保育施設等物価高騰対策支援事業費 13,021千円[13,021千円]

⑦ 保育環境改善等事業費補助金 699千円[1,392千円]

⑧ 感染症対策改修整備等事業費補助金 1,111千円[3,328千円]

⑨ 子育て世帯応援クーポン券事業費 138,144千円[156,042千円]
(令和4年度から繰越)

⑩ 公衆浴場・クリーニング業支援金給付事業費 14,105千円[14,105千円]

⑪ 医療機関エネルギー価格高騰支援金給付事業費 52,961千円[52,961千円]

⑫ 一般廃棄物収集運搬事業者等支援金給付事業費 7,010千円[7,010千円]

⑬ おたるプレミアム付商品券事業費 260,554千円[260,554千円]

⑭ 貨物自動車運送事業者支援事業費 28,728千円[28,728千円]

⑮ 街路防犯灯維持費支援金給付事業費 17,652千円[17,652千円]

⑯ 感染症対策等支援事業費(小・中学校) 14,175千円[28,350千円]

⑰ 学校給食費保護者負担軽減事業費 75,864千円[75,864千円]

⑱ 学校給食原材料費等支援事業費 27,337千円[27,337千円]
(令和4年度から繰越)

(2) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金関連事業

道の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を以下の事業に活用

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

⑲ 受診・相談センター設置事業費 9,900千円[9,900千円]

⑳ クラスター対策事業費 234,346千円[293,021千円]

(3) その他の新型コロナウイルス感染症対策関連事業

先に掲げた新型コロナウイルス感染症対策関連事業以外に、国庫支出金、道支出金等を活用し、以下の事業を実施

【括弧内の金額は予算現額】

1,024,154千円(1,356,445千円)

㉑ 保育環境改善等事業費補助金<(1)の再掲> 1,392千円(3,360千円)

㉒ 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 155,979千円(165,000千円)
◇ひとり親世帯分 87,292千円(94,000千円)

◇ひとり親世帯以外分 68,687千円(71,000千円)

㉓ 新型コロナウイルス検査事業費 681千円(1,439千円)

㉔ 新型コロナウイルス感染症対策事業費 30,299千円(46,796千円)

㉕ 感染症患者宿泊療養施設等移送事業費 2,802千円(16,997千円)

㉖ クラスター対策事業費<(2)の再掲> 293,021千円(293,955千円)

㉗ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費
279,342千円(338,815千円)

(予算現額のうち22,865千円は令和6年度へ繰越)

㉘ 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 214,711千円(437,279千円)

(予算現額のうち124,414千円は令和6年度へ繰越)

②9	高齢者施設等職員PCR検査事業費	14,588千円(21,465千円)
③0	新型コロナウイルス予防接種健康被害救済費	2,989千円(2,989千円)
③1	感染症対策等支援事業費（小・中学校）＜(1)の再掲＞	28,350千円(28,350千円)